

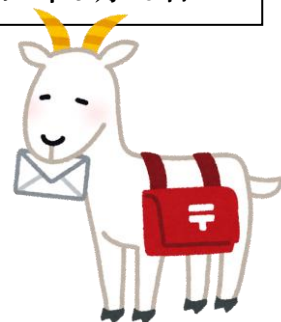
待ちに待った給食
ごはん あさづけ
鶏肉と麴の野菜あえ
玉ねぎのみそ汁

夢の車 ほぼ日刊 C'n'd'a't

第649号

神町中学校 夢色通信社
令和2年5月28日

ムネランチ会長からの手紙



拝啓 野も山も若葉の美しい季節となりました。学校が始まり2週間を迎えますが、神町中学校のみなさんは、新年度の学校生活に慣れましたか？

昨日、山形新聞に神中生の投稿（とうこう）が載っていました。地区総体が中止になったことを悔しく思う気持ちに、胸が締め付けられそうでした。本間恋美さんの作文を読みながら、自分の中3の時の最後の大会を思い出しました。私はサッカー部に所属していましたがものすごく弱いチームで、練習試合も含め1度も勝ったことがありませんでした。でも、3年生の最後の大会で初めて1勝をして喜んだことを覚えています。ですから、県大会や東北大会に手が届きそうな部活動がたくさんある神町中学校の部活動を、うらやましく感じています。でも、その成果を発揮する大会がなくなってしまいました。それでも恋美さんは「今まで頑張ってきた3年間は無駄だとは思わない」と書いています。これは、全ての人に共通する思いでしょう。

先日、高校3年の卒業生が神町中学校に来ていました。彼は神中を卒業し、中央高校でサッカーを続けていました。「地区総体がなくなったせいで、（体育科の生徒は秋の大会まで続けるけど）普通科に進学した生徒は部活動を引退することになった」と話していました。そして、「こんなに辛いことは、これからもないと思う。これからは、今の中3、高3が社会で活躍する時代が来る。悔しい思い、反骨精神を忘れずに前に向かって進んでいこう」と、後輩に向けてメッセージを送ってくれました。

高橋一粋くんの作文には、「自分たちの思いを、後輩にしっかりと引き継いでいきたい」と書かれていました。「龍勢神中」の気風は、代々先輩方から受け継がれてきました。先輩方の思いや教えが今の3年生の成長の糧（かて）になってることは間違いありません。その伝統の襷（たすき）を途絶えさせてはいけません。1・2年生にしっかりと襷（たすき）を渡す、1・2年生は大切にその襷を受け取る必要があるということを、一粋くんの作文から感じました。来週から始まる部活動、今まで以上に1日1日の部活動を大切に行ってほしいと思いました。

あ、そういえば私には高校3年生の息子がいることを忘れていました。彼は弓道をしています。秋の大会では勝ち進み、3月には東日本選手権大会への出場が決まっていた。彼は「春の大会で優勝して、今年で定年を迎える顧問の先生をインターハイに連れて行く」と語っていました。でも、どちらも叶（かな）いませんでした。親としては、今さらグチグチ言っても仕方ないかなと思って見えています。「同じ学年の人は、みな同じ条件。ここから先は、お前次第。進学するんだったら、ちゃんと勉強しろよ。人のせいにするなよ」ということです。親としては、前に向かって進んでいくことを信じるしかありません。

ここ2週間の神町中学校・3年生の生活を見ると、落ち着いて学習に取り組んでいるなと感じます。立派だなあと思って見えています。将来、「俺たちが中学校の時は、コロナで大変だったんだ。」と言える日がきっと来ます。「今」を大切に！

夢色通信社・ムネランチ会長 より